

【樹木の部屋】

リュウキュウマツ（マツ科マツ属 *Pinus luchuensis* mayr）

和名：リュウキュウマツ（琉球松）

別名：リュウキュウアカマツ、オキナワマツ（沖縄松）

英名：Ryukyu Island pine

マツ目 常緑針葉樹 **原産地**：日本

花言葉： **花の色**：



← 写真-1 リュウキュウマツ

撮影日：2015 年 02 月 04 日

撮影場所：大島紬村(奄美大島)にて

撮影者：M さん

奄美大島北部にある、大島紬村散策中に見かけました。

わが国の固有種で、九州のトカラ列島以南から沖縄諸島に分布しています。海岸近くに生え、高さは20メートルほどになるそうです。樹冠は平らな傘形で、樹皮は灰黒色で不規則な割れ目が入り、葉は線形で2個が束生します。新芽は赤色を帯びてアカマツに良く似ています。葉の堅さも柔らかい。樹皮はクロマツのように厚くはないが、アカマツのようにはがれてしまう

ことはないそうです。雌雄同株で、3月から4月ごろ花を咲かせ、果実は球果で、直径2センチほどの卵形です。

沖縄県の県木に指定されています。久米島町「五枝の松」（国指定天然記念物）、伊平屋村「念頭平松」（県指定天然記念物）はリュウキュウマツの銘木で、どちらも推定樹齢300年を超えると推定されます。